

1. 科目名 (単位数)	音楽科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP2294 SJMP2394
2. 授業担当教員	松本 岳志		
4. 授業形態	講義、演習 (全員、個人、グループ)	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	音楽 (初等・小) 及びⅡを終えていること。		
7. 講義概要	<p>本講義では、小学校教育における音楽科の役割、目標、指導内容、児童の音楽的発達について理解し、初等教育に従事する教育者として必要な指導法の基礎を身に付ける。</p> <p>具体的には、まず学習指導要領に記載されている音楽科の目標について理解する。次に、小学校音楽科の指導内容 (表現 [歌唱・器楽・音楽作り]・鑑賞指導の意義・留意点、共通事項) について理解する。</p> <p>それまでの学修内容を踏まえ、学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解し、指導案作成を行う。作成した学習指導案をもとに模擬授業を実施し実践感覚を高めるとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。</p>		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解する。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付ける。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができるようになる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解する。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができるようになる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解する。 7. 実践的な学習指導案を作成することができるようになる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養うとともに、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付ける。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌唱共通教材及び鑑賞教材の教材研究を行い、それをもとに模擬授業も行う。 2. 学習指導案を作成して、提出する。 3. 小学校音楽科教育に関する試験を課す。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 有本真紀・阪井恵・山下薫子編著『教員養成課程 小学校音楽科教育法』教育芸術社</p> <p>【参考書】 河口道朗 編著『音楽教育入門 ― 基本理念の構築』音楽之友社 東京福祉大学編『教職科目要説 (初等教育編)』ミネルヴァ書房 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規 文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍。 山下薫子編著『平成 29 年度版 小学校新学習指導要領 ポイント総整理』東洋館出版社</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初等教育における音楽科の役割、目標を理解している。 2. 初等音楽科の指導内容と指導上の留意点を理解し、それぞれの領域の指導法を身に付けている。 3. 音楽の基礎的知識・技能を身に付け、教材研究を行うことができる。 4. 児童の音楽的発達段階について理解している。 5. 情報機器及び教材を音楽科の授業において効果的に活用することができる。 6. 学習指導計画の意義、構成、内容の取扱い、音楽科の評価について理解している。 7. 実践的な学習指導案を作成することができる。 8. 模擬授業を通して授業実践の感覚を養い、その振り返りを通して授業改善の視点を身に付けている。 <p>○評定の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導案の内容 20% ・模擬授業の内容 30% ・授業への積極的参加度 20% ・学期末試験 30% 		
12. 受講生へのメッセージ	<p>音楽科教育は、ただ単に子ども達と楽しく歌を歌っていれば済まされるような教科ではありません。その役割や意義、子どもの発達など教育の専門家として必要な知識を得よう努めて下さい。また、豊かな音楽経験を子ども達と共有しながら指導していくためには、音楽的知識や高い演奏技術も要求されます。これらを身に付けることは容易ではありませんが、日々地道な教材研究と練習を重ねていってください。そして、自らが音楽を愛好する心情を持って授業に臨むようにしましょう。</p> <p>※本授業では課題レポートの代わりに、試験を課します (9. 及び 11. を参照のこと)。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業のオリエンテーションにおいて通知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション 小学校音楽科の意義 小学校音楽科の目標① (6 年間)	事前学習	教科書 pp. 6～9 を読んでおくこと。
		事後学習	音楽科の意義及び音楽科の目標 (6 年間) について理解する。
第 2 回	小学校音楽科の目標② (各学年) 小学校音楽科の指導内容 共通事項について 教材研究について	事前学習	教科書 pp. 10～15、pp. 56～57 を読んでおくこと。
		事後学習	小学校音楽科の目標② (各学年)、小学校音楽科の指導内容、共通事項について理解する。 課題として指定された教材の研究を進めること。
第 3 回	歌唱指導について (指導上のポイント) 移動ド唱法と固定ド唱法、変声期の児童への配慮等	事前学習	教科書 pp. 16～23 を読んでおくこと。
		事後学習	歌唱指導の意義と指導上の留意点移動ド唱法と固定ド唱法、変声期の児童への配慮等、発声法とその指導について理解する。 歌唱共通教材の教材研究を進め、模擬授業を実施できるよう準備を進めておくこと。

第4回	歌唱共通教材①：模擬授業 1年生：うみ、かたつむり、ひらいたひらいた 2年生：かくれんぼ	事前学習	左記の歌唱共通教材を歌えるようにしておくこと。いずれの曲も階名唱もできるようにしておくこと。
		事後学習	左記の歌唱共通教材について、楽曲の音楽的特徴や指導上のポイント・留意点を復習し、児童に指導できるようになること。
第5回	歌唱共通教材②：模擬授業 2年生：春がきた、虫のこえ、夕やけこやけ 3年生：茶つき	事前学習	左記の歌唱共通教材を歌えるようにしておくこと。いずれの曲も階名唱もできるようにしておくこと。
		事後学習	左記の歌唱共通教材について、楽曲の音楽的特徴や指導上のポイント・留意点を復習し、児童に指導できるようになること。
第6回	歌唱共通教材③：模擬授業 3年生：春の小川、ふじ山 4年生：さくらさくら、とんび	事前学習	左記の歌唱共通教材を歌えるようにしておくこと。いずれの曲も階名唱もできるようにしておくこと。
		事後学習	左記の歌唱共通教材について、楽曲の音楽的特徴や指導上のポイント・留意点を復習し、児童に指導できるようになること。
第7回	歌唱共通教材④：模擬授業 4年生：まさばの朝、もみじ 5年生：こいのぼり、スキーの歌	事前学習	左記の歌唱共通教材を歌えるようにしておくこと。いずれの曲も階名唱もできるようにしておくこと。
		事後学習	創左記の歌唱共通教材について、楽曲の音楽的特徴や指導上のポイント・留意点を復習し、児童に指導できるようになること。
第8回	歌唱共通教材⑤：模擬授業 5年生：冬けしき 6年生：おぼろ月夜、ふるさと、われは海の子	事前学習	左記の歌唱共通教材を歌えるようにしておくこと。いずれの曲も階名唱もできるようにしておくこと。
		事後学習	左記の歌唱共通教材について、楽曲の音楽的特徴や指導上のポイント・留意点を復習し、児童に指導できるようになること。
第9回	器楽指導について（指導上のポイント） 打楽器類の奏法と合奏指導 ソプラノ・リコーダーの奏法と指導 指揮法	事前学習	教科書 pp. 24～39 まで読んでおくこと。
		事後学習	器楽指導の意義や指導上のポイント等の復習をしておくこと。打楽器類及びソプラノ・リコーダーを児童に指導できるようになること。また、指揮法について、復習しておくこと。
第10回	音楽づくりについて（指導上のポイント）	事前学習	教科書 pp. 40～47 を読んでおくこと。
		事後学習	音楽づくりの意義や指導上のポイント等の復習をしておくこと。
第11回	鑑賞について 発達段階に沿った鑑賞教材の選択 鑑賞教材①：越天楽今様、その他	事前学習	教科書 pp. 48～55 を読んでおくこと。
		事後学習	鑑賞の意義や発達段階を考慮した教材選択について復習しておくこと。授業で取り扱った鑑賞教材について、復習しておくこと。模擬授業に向けて、教材研究を進めておくこと。
第12回	鑑賞教材②：模擬授業	事前学習	指定された鑑賞教材について、事前学習をしておくこと。模擬授業を実施できるよう準備をしておくこと。
		事後学習	授業で取り扱った鑑賞教材について、復習しておくこと。また、他の楽曲にも興味・関心を持ち、教材研究を行なっていくこと。
第13回	音楽科における ICT 活用 学習指導計画 音楽科の学習指導案	事前学習	教科書 pp. 60～63、pp. 74～85、pp. 88～89 を読んでおくこと。
		事後学習	授業における ICT 活用について復習しておくこと。学習指導計画及び学習指導案について復習しておくこと。
第14回	音楽科の評価 学習指導案作成①：題材名、題材設定の趣旨、題材の目標、題材の評価基準、題材の学習指導計画等々	事前学習	教科書 pp. 90～94 を読んでおくこと。
		事後学習	音楽科の評価について復習しておくこと。学習指導案の作成を進めておくこと。
第15回	学習指導案作成②：本時の学習指導（本時の目標、展開）	事前学習	学習指導案の指定された箇所までを完成させておくこと。
		事後学習	学習指導案を完成させて、提出すること。
			期末試験